

第12回青森ねぶた祭検討特別委員会会議概要

日 時 平成18年12月2日(土) 10時00分～12時30分

場 所 ラ・プラス青い森 4F ル・シエル

出席委員 佐藤副委員長、對馬委員、勝又委員、千葉委員、柳谷委員、奈良委員、澤田委員

事務局 市澤田部長、協会櫻田専務、山田事務局長

欠席委員 蝦名委員長、武田委員、若井委員、太田委員、采田委員

蝦名委員長が欠席のため、佐藤副委員長が座長となり会議の進行をした。

○副委員長挨拶

まとめられるものは順次まとめていきたい。

○前回の議事概要について

事務局より前回の会議概要を説明し、内容を確認した。

○会議概要

奨励委員の構成について

- ・ねぶたに精通していなくても他の祭りを沢山見てきた人やいろいろな芸術に触れている人が審査員にいても良い。
- ・団体側はねぶたを理解し、ねぶたに親しんできた人に審査して頂きたい。芸術と言ってもすべて共通ではない。ねぶたの採点はねぶたを理解している地元の方が良いと思う。
- ・団体に繋がりが強い人は審査員になれない。今までも候補はあったが、結局は委員になれなかった。
- ・条文を変えることより、委員を変えること、結果が大事。
- ・現状は指名制だが非民主的ではない。実際は事前調査、内諾が必要。
- ・団体側は条文よりメンバーが不服。
- ・メンバーの長期固定化、運用上の問題なのではないか。
メンバーは毎年半分変えるなど運用方法を宣言することが大事。
- ・任期の基準を決めるべき。
- ・ねぶた終了後に来年のねぶたを協議し一年中活動しているので、改選しにくい状況。
- ・奨励委員長だけではなく他の委員長も同様に考えなければならない。

↓

【決定事項】

構成：祭主催団体、報道機関、有識者の中で、ねぶた又は芸術に造詣の深い者

選任：①委員長は青森ねぶた祭実行委員長が指名し、実行委員会の承認を得る。

②副委員長、委員は奨励委員長が推薦し、実行委員会の承認を得る。

※主催団体の意見を踏まえて調整すること。

○次回委員会開催について

日時 平成18年12月27日(水) 15時30分～17時30分

案件 後継者育成について

以上